

南三陸 復興まちづくり通信

第44号（平成30年2月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



志津川保育所高台に移転 落成式

東日本大震災で被災し、志津川市街地の防災集団移転団地「中央団地」内に新築移転した志津川保育所（乳幼児69人）の落成式が1月31日に行われ、関係者がテープカットして完成を祝いました。

落成式には佐藤仁町長をはじめ、民生児童委員や行政区長など約50人が出席。佐藤町長は「子どもたちが安心して暮らせる子育て環境づくりを進め

ていきたい」と式辞を述べました。その後、ひまわり組とこすもす組の27人が元気にお礼の言葉を述べ、感謝の気持ちを込め歌を披露しました。

新しい園舎は敷地面積が約4,500平方メートル。木造平屋建てで、床面積は745平方メートル。建設工事費は約3億4,115万円です。志津川小学校や志津川中央復興公営住宅に隣接しています。

上の山の旧志津川保育所は、震災の津波で床下浸水。安全のために移転新築したものです。

歌津に交流施設「かもめ館」オープン！

南三陸町の商店街「ハマレ歌津」の隣接地に交流施設「かもめ館」が完成し1月28日にオープニングセレモニーが行われました。当日は旬のカキやワカメ、タラが味わえる「カキたら福まつり」が開催され、親子連れなど大勢の来場者が蒸しガキやわかめのしゃぶしゃぶなどを楽しみました。かもめ館は、1階にはウニやカキのむき身体験ができる調理施設や会議室、2階には伊里前湾が一望できる広いテラスがあり、地域の人と観光客などの交流の場として活用が期待されます。



（大勢の来場者で賑わったオープニングセレモニー）

志津川中央公営住宅自治会が新年会

志津川中央復興公営住宅（入居 124 戸）の集会所で 1 月 14 日、「新年会」が行われました。昨年 11 月に自治会が設立されてから初めての自治会行事で、入居者 35 人が参加しました。

自治会の佐々木守会長が「入居者同士のコミュニケーションを取る場として企画しました。楽しく懇談してください」と挨拶。乾杯の後、お祝い用の仕出し料理などをつまみながら歓談しました。LSA の高橋さんのエレクトーン演奏や入居者のサークル「笑福会」の踊り、カラオケなどで会場は大いに盛り上がりました。



(八木節を披露する「笑福会」のメンバー)



(笑顔で記念撮影をする交流会参加者のみなさん)

伊里前復興住宅自治会が研修会&新年交流会

町営伊里前復興住宅自治会主催の「研修会&新年交流会」が 1 月 13 日ホテル観洋で開かれ、入居者 15 人が参加しました。一行はバスで復興住宅を出発し、自治会の伊藤俊会長の案内で町内の防災集団移転団地や役場新庁舎、戸倉公民館などを見学した後、ホテルの宴会場で会食。カラオケなどを楽しみながら和やかに交流のひと時を過ごしました。

このイベントは、赤い羽根共同募金の住民支え合い活動助成事業の補助金を受けて実施したもので、研修・見学の移動にはモアイバスが活用されました。

高台移転みねはた団地でクリスマス交流会

東京のボランティア団体が 12 月 24 日、歌津地区の防災集団移転「みねはた団地」を訪れ、集会所で「クリスマス交流会」を催しました。訪れたのは震災後から南三陸町で支援を継続している倉臼あんどりゅさん一家とその友人家族など 12 人で、会には子どもから高齢者までの団地住民 22 人が参加しました。みんなで「きよしこの夜」や「ジングルベル」などを歌ったり、ゲームを楽しんだほか、ケーキ・コーヒータイムで和やかなひと時を過ごしました。最後に、参加者全員にサンタさんから素敵なプレゼントが贈られました。



(クリスマス交流会の様子＝団地集会所)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当会は今年度、トヨタ財団と大阪コミュニティ財団から助成をいただいで活動しています。